

キレーネロータリ

平高うね整形(マルチ)

ダブル可変 ハイカラ

AKR-HTH152

管理機向け整形マルチの最高峰!!

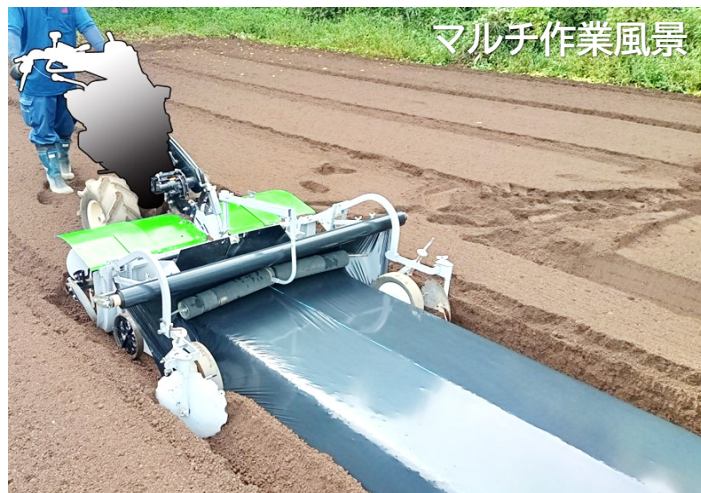
きれいな平高うねがパツとできて、簡単にマルチが張れます!!



※緑色のロータリカバーは各メーカー様の管理機に合わせた配色になります。
※緑色の仕様はございません。

パツとうねたて機構レバー

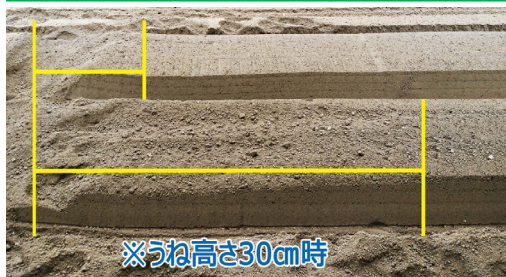
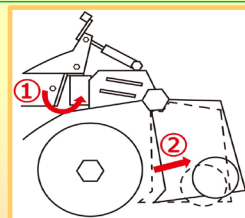
ダブル可変ハイカラ+平高うねハイマルチ



マルチ作業風景

「パツとうね立て機構」うねの立ち上がりが早くなり、ハウスなど狭い場所でもパツとうね立て!

パツとうねたて機構レバーを「入」位置にし、うねたてをスタートすると①が開き、
②の整形機とロータリとの隙間が開くことで土に食い込み、うねの立ち上がりが早くなります。
立ち上がった後機構レバーを「切」位置にし、ハンドルを下げ、整形機を少し浮かし、
①が閉じた状態で、ロックしている事を確認してから通常うねたて作業を行います。



※うね高さ30cm時

上段がパツとうね立て機構を使用した場合。
下段は機構を使用しない場合。※同機種使用
うね立ち上がりまでの距離が約1/3になります。

※うねの高さ、土質条件によっては更に差が出る事もあります。

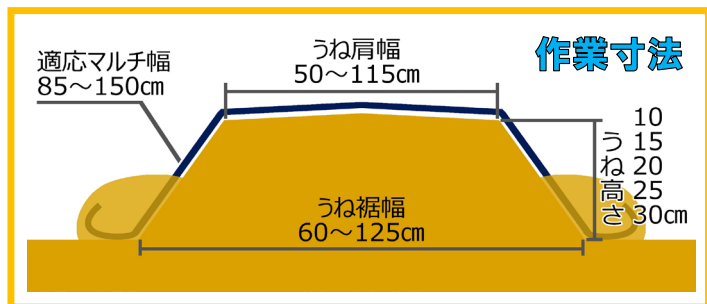
『パツとうねたて機構』
特許取得済：
特許第7023539号



主要諸元

品名	型式	種類	全長(mm)	全高(mm)	全幅(mm)	重量 (kg)	適応管理機
ダブル可変ハイカラ	AKR-HTH152-●L	整形仕様	810	780	1080 ※1	71	各社大型汎用管理機
平高うねハイマルチ	R318DE	専用マルチ	1360 ※3	1280 ※2		23	

※1 出荷時(全幅はうねサイズによって変わります) ※2 マルチアームを上げた全高 ※3 マルチ作業時の全長



作業寸法

平高うね ハイカラ (cm)

	10	15	20	25	30
うね高さ	10	15	20	25	30
うね肩幅	50~115	50~109	50~103	50~97	50~90
うね裾幅	60~125	68~125	74~125	80~125	86~125
適応シート幅	85~150				

④ 台形うねは高さ上がるほど最大うね肩幅は狭くなります。
詳細は上表をご確認ください。

うねたてマルチと土壤消毒機のことなら



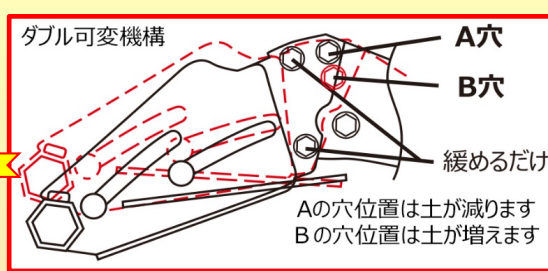
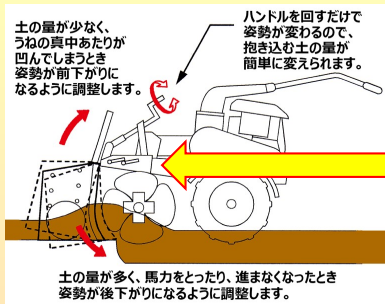
株式会社 アグリアタッチ研究所

従来の整形器『角度可変領域』を大幅にUP！ 管理機では業界一の可変領域!!

「可変ハンドル」での可変領域を円弧を描く様に約4度大幅UPして、土量調整がさらに簡単になりました。

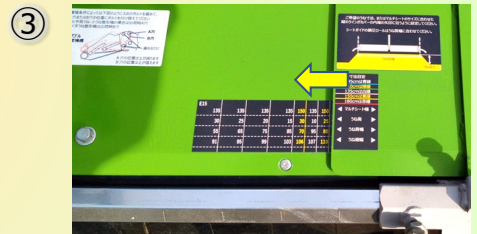
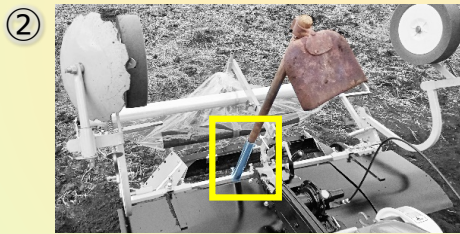
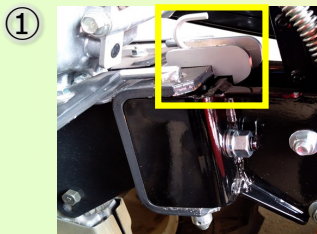
『ダブル可変機構』搭載で更なる土寄せ調整が可能に！

「ダブル可変機構」は整形機を約3度屈折できる機構で、「可変ハンドル」だけでは土量調整できない場合の最終調整です。



その他の便利な機能

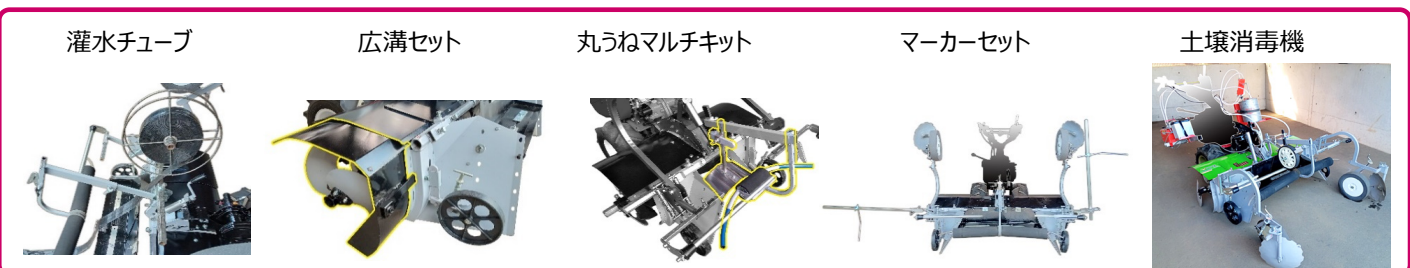
- ①『カッチャンピン』を採用！フック状のヒッチピンで管理機への装着がより簡単に！（特許第7411891号）
- ②『鍬ホルダー』を標準装備！マルチ作業時に使う鍬などを作業機と共に運ぶことが可能！
- ③『うね幅寸法目安ラベル』メジャーを使わなくてもご希望のうね肩幅に簡単設定。



メーカー型式	発注コード	価格(税別)	価格(税込10%)
AKR-HTH152-●L (整形仕様)	型式末尾の●Lはメーカー本機によって変わります		
R318DE(ハイマルチ)			

オプション ※土壌消毒器は別途お問い合わせください。

品名・型式	発注コード	価格(税抜)	価格(税込10%)	備考
灌水チューブ1条 ASSY 1条 KST2-R1		詳しくは最寄りの 農機販売店様に お問い合わせください。		灌水チューブを敷設できます。ガイド付き
灌水チューブ2条 ASSY 2条 KST2-R2				うね溝の残土を往復時30~40cm溜めます
平高広溝セット HE40D-H				うね溝の残土を往復時40~60cm溜めます
平高広溝セット HE60D-H				95cmマルチ専用のうねマルチ作業が可能
可変用 丸うねマルチ組換キット MM-KKD				うね芯間を一定にするためのマーカー
線引きマーカーセット SMK-1				うねの肩を丸くし、排水性を向上させます
コーナーカット板 KKB-D				ローターを地面に着けずに移動できる補助車輪
移動車輪 IDS1				土壌消毒機2~4条用 (要相談)
土壌消毒機 P2F1D~P4F1D-KS				



●このカタログの仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。

 株式会社アグリアタッチ研究所

Agri attach Labo

本社：〒421-3301 静岡県富士市北松野1204番地
TEL(0545)85-3215 FAX(0545)85-2076
URL：https://www.agri-attach.co.jp/



安全に関するご注意

- ご使用の際は取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。

改訂日：2025年1月